

令和4年度 学校評価報告書

丹波篠山市立 大山小 学校

校長 足立 真一郎

1 学校教育目標等

夢や希望をもち、生き生きと輝く大山っ子の育成
～大好き自分・大好き友だち・大好き大山～

2 今年度の重点目標

豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実を図る。

- ① 「対話」による「深い学びをめざす」道徳科の授業づくりと評価の充実を学校全体で組織的に取り組む。
- ② 適宜適切な肯定的な評価を生かした指導を心がけ、自己有用感や自己受容を高める。
- ③ 楽しく体を動かす時間を確保し、様々な遊びやスポーツを体験させる。
- ④ 地域とのつながりを深め、感謝の心やふるさとを愛する心を育む体験活動や探究学習の充実を図る。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
教育課程・学習指導	学力向上	B	学力調査結果の分析を学校独自で行い早期に授業改善や全校で課題対策を進めた。「けテぶれ」学習法の取組から、自分の課題にあった学習に取り組む力が着いてきている。
	体力向上	A	「のびのび遊ぼう」タイムという全校遊び時間を新設し、様々な自由遊びや学級や児童会による活動により、楽しく体を動かす児童が増えた。
	道徳教育の充実	A	道徳科の授業改善に向け、全学年で研究授業を行い、年9回の校内研究に講師を招聘し、実践的指導力の向上が図れた。
生徒指導	組織的な取り組みの充実	B	学団会議・生徒指導委員会の定期開催、いじめアンケート等により児童理解に努め、全教職員での組織的な対応ができた。
	スクールカウンセラー(S C)スクールソーシャルワーカー(SSWR)等との連携強化	A	SSWRを交えたケース会議(3事案)により、組織的な対応による環境調整など効果が上がった。SCの児童観察を生かした児童理解や指導方法の工夫改善ができた。
	早期対応と情報共有	C	初期対応において丁寧な事実確認と情報共有の徹底に努め、複数指導体制による多面的な多角的な児童理解と指導を行う。
特別支援教育	個に応じた指導の充実 校内支援体制の整備	A	月例の特別支援教育委員会において、個別の指導計画の内容検討を深め、個に応じた指導や組織的な指導、教育相談の充実を図った。

保護者・地域との連携	安全・安心な学校づくり	B	従来の学校運営協議会との連携による安全点検に加え、PTAと協働した安全点検を実施し、多様な視点での危険箇所の早期発見や早期対応に努めることができた。
	地域とともにある学校づくり	B	地域講師を積極的に活用しふるさとキャリア学習の充実に努めた。新規クラブ活動講師の確保、ふるさとフォトコンテスト、作品交流展示など新規教育活動による充実に努めた。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- 学校経営方針及び重点目標は、適切に設定されている。
- ・地域と学校、保護者がこれまで以上に協力して、子どもたちの成長に向けて協議したり一緒に活動したりできる連携体制を築いていきたい。
 - ・地域のことを知ったり地域の人と学んだりするふるさと教育を、これからも大切に取り組んでほしい。学校から地域人材や地域素材の提供については要望があれば、我々地域のものはできるだけの協力をしていく。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・安全点検を放課後にしていますが、児童が活動している最中が危ない。そうした時間の安全点検に取り組んでみることも良いのではないかな。
- ・マスク着用問題については大山小なら距離を取って外しても良いと考える。鼻呼吸が難しい、発した言葉が聞き取りにくいなど課題も多くあると感じる。
- ・教職員の労働基準法・労働安全衛生法は大丈夫かと心配する。異業種の取組を参考にするのもよいのではないかな。
- ・タブレット端末の活用や外国語教育など次々と新しい教育課題が取り入れられ、先生方も子供も大変だろうと感じる。授業時数、勤務時間と入れられる量は限られているので、外部へ出す課題や方法も考えていく必要がある。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・後期において、確かな学力の育成において各項目で充実された取り組みをされている。特に、タブレット端末をはじめICT機器を活用した授業づくりで指導が強化されている。 ・評価結果と授業参観を通して、子どもたちは落ち着いており、先生方は一人一人に気を配り、両者の良い関係の中で学習課題に取り組んでいると評価している。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものやる気を引き出すのに自己肯定感が大事です。自分の良さは自分では気づきにくいものです。他者からの賞賛や感謝で気づきます。「よかった」「ありがとう」を大切にしてほしい。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人一人の実態把握に努め、個に応じた指導を工夫して取り組んでいただいている。 ・先生方のご指導のもと、一人一人の児童の成長がよくわかる。今後も引き続き子どもたち一人一人に寄り添った指導をしてほしい。
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・重点目標①「安全で安心して学べる環境作り」において、児童に対する校舎内での安全指導、施設設備面での安全管理や児童安全衛生面等環境づくりが良くされている。 ・音声メッセージ電話への保護者や地域からの反応はどんな感じか。勤務時間の適正化は良く分かるが、何か方法はないものかと考える。学校・家庭・地域と一体となった教育の推進の面では疑問を感じる。

